

**令和6年度 「横浜市港北区民文化センター」 収支予算書兼決算書**  
(令和6.4.1~令和7.3.31)

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	139,642,000		139,642,000		139,642,000	横浜市より
利用料金収入	32,214,950		32,214,950		32,214,950	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入			0		0	
自主事業収入	8,700,000		8,700,000		8,700,000	
雑入	430,000	0	430,000	0	430,000	
印刷代	30,000		30,000		30,000	
自動販売機手数料	400,000		400,000		400,000	
駐車場利用料収入			0		0	
その他（広告ラック収入・預金利息）			0		0	
<b>収入合計</b>	<b>180,986,950</b>	<b>0</b>	<b>180,986,950</b>	<b>0</b>	<b>180,986,950</b>	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
<b>人件費</b>	<b>65,944,000</b>	<b>0</b>	<b>65,944,000</b>	<b>0</b>	<b>65,944,000</b>	
給与・賃金	52,195,000		52,195,000		52,195,000	館長・運営スタッフ・時給職員含め18名
社会保険料	9,299,000		9,299,000		9,299,000	
通勤手当	2,926,000		2,926,000		2,926,000	
健康診断費			0		0	
勤労者福祉共済掛金	412,000		412,000		412,000	
退職給付引当金繰入額	1,112,000		1,112,000		1,112,000	
<b>事務費</b>	<b>5,266,920</b>	<b>0</b>	<b>5,266,920</b>	<b>0</b>	<b>5,266,920</b>	
旅費	100,000		100,000		100,000	出張旅費
消耗品費	1,000,000		1,000,000		1,000,000	事務消耗品費
会議購入費			0		0	
印刷製本費			0		0	
通信費	900,000		900,000		900,000	電話代・郵送料等
使用料及び賃借料	322,000	0	322,000	0	322,000	
横浜市への支払分	252,000		252,000		252,000	目的外使用料等
その他	70,000		70,000		70,000	リース経費等
備品購入費	1,584,920		1,584,920		1,584,920	
図書購入費			0		0	
施設賠償責任保険	700,000		700,000		700,000	
職員等研修費			0		0	
振込手数料			0		0	
リース料	610,000		610,000		610,000	AED等
手数料			0		0	
地域協力費	50,000		50,000		50,000	地域イベントの協力費等
<b>事業費</b>	<b>14,500,000</b>	<b>0</b>	<b>14,500,000</b>	<b>0</b>	<b>14,500,000</b>	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）費			0		0	
自主事業費	14,500,000		14,500,000		14,500,000	イベントの実施
<b>管理費</b>	<b>79,473,030</b>	<b>0</b>	<b>79,473,030</b>	<b>0</b>	<b>79,473,030</b>	
光熱水費	15,777,000	0	15,777,000	0	15,777,000	
電気料金	13,277,000		13,277,000		13,277,000	
ガス料金			0		0	
水道料金	2,500,000		2,500,000		2,500,000	
清掃費	10,442,300		10,442,300		10,442,300	日常・定期清掃費
修繕費	300,000		300,000		300,000	
機械警備費	360,000		360,000		360,000	
設備保全費	12,951,730	0	12,951,730	0	12,951,730	
空調衛生設備保守	1,232,000		1,232,000		1,232,000	
消防設備保守	132,000		132,000		132,000	
電気設備保守	316,800		316,800		316,800	
害虫駆除清掃保守	220,000		220,000		220,000	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費	11,050,930		11,050,930		11,050,930	ピアノ、音響、コピー機保守費
共益費	39,642,000		39,642,000		39,642,000	ビル全体管理費、商店会費など
<b>公租公課</b>	<b>5,803,000</b>	<b>0</b>	<b>5,803,000</b>	<b>0</b>	<b>5,803,000</b>	
事業所税			0		0	
消費税	5,793,000		5,793,000		5,793,000	
印紙税	10,000		10,000		10,000	
その他（ ）			0		0	
<b>事務経費（計算根拠を説明欄に記載）</b>	<b>10,000,000</b>	<b>0</b>	<b>10,000,000</b>	<b>0</b>	<b>10,000,000</b>	
本部分	10,000,000		10,000,000		10,000,000	労務・経理等の本部事務経費
当該施設分			0		0	
<b>二一ス対応費</b>			<b>0</b>		<b>0</b>	
<b>支出合計</b>	<b>180,986,950</b>	<b>0</b>	<b>180,986,950</b>	<b>0</b>	<b>180,986,950</b>	
<b>差引</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
自主事業費収入	8,700,000		8,700,000	0	8,700,000	
自主事業費支出	14,500,000		14,500,000	0	14,500,000	
自主事業収支	5,800,000		5,800,000	0	5,800,000	
管理許可・目的外使用許可収入	430,000		430,000	0	430,000	
管理許可・目的外使用許可支出	252,000		252,000	0	252,000	
管理許可・目的外使用許可収支	178,000		178,000	0	178,000	

# 令和 6 年度事業計画書

横浜市港北区民文化センター  
指定管理者 港北結マネジメント  
(株式会社神奈川新聞社・相鉄企業株式会社)

# 令和6年度 横浜市港北区民文化センター 年間事業計画書

## 1. 運営の基本方針

横浜市港北区民文化センター（ミズキーホール）は、文化芸術を通じて地域の人々とまちを結ぶことが最も大切な役割です。そのためには、将来を見据えた、持続可能性の高い方法で施設運営を行い、文化芸術のコミュニティづくりを後押しします。

スタッフの合言葉は「ハートでつながる、わたしたちのまち」とします。運営団体であるわたしたち「港北結（むすぶ）マネジメント」は、ミズキーホールをプラットフォームとして、地域が一体となった大きな輪である「文化的コモンズ」の形成に力を尽くします。

ミズキーホールが、文化芸術を愛する人々が集うにぎわいの場になるよう運営します。

そのために「文化芸術事業パートナー」と連携し専門的ノウハウを取り入れた自主・共催事業を行います。まちや人々のニーズに基づいたアウトリーチ事業を行います。文化活動をはじめ商店街、企業、子育て支援、福祉、環境保護に取り組む団体などで構成する「文化芸術支援パートナー」のネットワークを確立します。共生社会の実現に貢献するため社会的包摂（ソーシャル・インクルージョン）の視点を踏まえた運営をします。

実施事業は、運営団体の情報発信力を生かし多くの人々に周知していきます。メディアサポートグループとも連携し知名度の向上を図ります。

次世代育成のため、若手アーティストの支援や子どもたちが文化に触れる機会を積極的に創出します。アート系学部出身者らを事業制作のスタッフに起用しアートの舞台裏を学んでもらいます。

運営の初年度となる令和6年度の重点目標は、誕生したばかりの館の知名度と稼働率を上げることです。そのため下記のような目標を定めます。

- \* 「良質」「多様」「共に」の三つをテーマにした鑑賞事業を実施します。
- \* アウトリーチ事業へのニーズを確かめ、ニーズに基づいた方法で実施します。
- \* オープニング事業の成果を令和6年度の事業につなげます。
- \* 若手アーティストの人材育成に取り組みます。
- \* 文化芸術支援パートナーの輪を拡大し20団体との協力態勢確立を目指します。
- \* 港北区内の各施設と情報交換し協力関係を確立します。
- \* 地域で活動する団体の情報を集め、多くの団体を一覧できるようにします。

- ・採用時研修…「採用時研修」「基本業務研修」「サービスマナー講習」「人権研修」  
「コンプライアンス研修」「指定管理者研修」「予約システム研修」

- ・一般研修…「サービスマナー研修」「CSR全員研修」「ノーマライゼーション研修」「情報公開と個人情報保護研修」「危機管理・事故防止研修」「救命講習・AED講習」「消防訓練・防災訓練」「防火管理講習」「管理事例の紹介」「通信教育」

## 2. 人員配置と勤務体制

役職名	人数	勤務時間
館長 兼 地域コーディネーター	1名	① 8:30 ~ 17:00 ② 14:00 ~ 22:30 の2交代制 (休日は月平均10日)
事業責任者	1名	
広報責任者	1名	
施設運営スタッフ (受付事務責任者1名含む)	5名	8:30~22:30の間
舞台技術スタッフ (舞台技術責任者1名含む)	4名	
カルチャースタッフ	6名	① 8:50 ~ 13:20 ② 13:00 ~ 17:00 ③ 17:00 ~ 21:30 の3交代制

## 3. 施設管理

法令等に則った施設の保守・点検や日常的な予防的修繕などの維持管理を行い、安全で快適な施設を維持します。また、効率的な経費の執行や収入増の取組等により、安定的な施設運営を行います。

保守管理及び維持保全については、「設備等保守管理項目一覧」「施設管理計画」に則り適切に業務を実施します。当施設は全スタッフにおいて施設運営に係る様々な業務をこなすことのできる「マルチジョブ」が可能な人員の育成・配置を行い、日々の確認を綿密なものにするとともに、必要に応じて点検箇所や回数を増やし、常に施設に対して目配りや気配りを行い、施設の予防保全に努めます。保守管理を実行するにあたっては、施設利用（貸館）を最優先に考え、利用者による影響がないよう保守点検を行います。そのために、設備等の耐用年数や稼働時間等の専門知識を基に、作業の優先順位を考慮した活動計画を作成し、必要な作業を最適なタイミングで実施します。

感染症対策については、横浜市の方針を踏まえ、利用者様が安心して足を運ぶことが出来る施設作りに励んでまいります。

#### 4. 文化事業

##### 【鑑賞事業】

I 音楽事業			
テーマ	事業名（仮称）	回数	目標・内容
良質	ウィークデーコンサート	6	比較的ホールの利用が少ない平日午後帯にチケット料金が安価であるコンサートを開催し、カジュアルに音楽を楽しめる機会を提供する。
良質	ジャズコンサート	1	プロで活躍するジャズ奏者によるコンサートを開催し、本格的なジャズを鑑賞する機会とする。若手ジャズ演奏家を起用したコンサートを1回以上実施する。
良質	かながわ音楽コンクール（予選会）	2	左記予選会を誘致し、次世代音楽家の卵を発掘や育成を目的とする。
多様	歌のお姉さん	1	未就学児連れの親子でも入場できるコンサートを実施し、メインターゲットである子供の親世代間での交流の機会を創出する。
良質	アーツ室内オーケストラ	1	ベテラン奏者や若手奏者などによるハイレベルなコンサートを開催する。
良質	ザ・ヴァイオリン・ソナタ	1	「ザ・名曲シリーズ」として、ジャンル毎の名曲を取り上げることで、プロ音楽家の演奏を聴く機会とする。
多様	世界の伝統芸能	1	世界の伝統文化・芸能に関する知見を得る機会を目的とし、民族楽器の演奏を通じて、世界の伝統文化・芸能に触れる機会を創出する。
多様	0歳からのコンサート&育児講座	1～2	親子でカジュアルに生演奏を聴き、誰もが知る演目を行うことで、情操教育の機会を創出すると共に、育児講座等を開催する事で、子育て世代が文化芸術に触れる機会を増やすことを目的とする。
多様	未就学児対象・親子で参加するリトミック教室	1	リトミック教室を切り口として、音楽鑑賞会や楽器体験会への参加により、子どもたちがより豊かな情操を養うための機会とする。
多様	気楽にできる楽器の教室	1	リコーダー、オカリナ、ウクレレなどの比較的安価で購入しやすい楽器の演奏講座を開催し、文化芸術をより身近に感じるための機会とする。

テーマ	事業名（仮称）	回数	目標・内容
多様	国際園芸博覧会応援 公演・ミズキーコンサ ート	1	2027年開催予定の国際園芸博覧会を横浜市内 で開催することから、ミズキーホールとして、 演奏会等を成功祈願のため、開催年まで毎年行 う。
多様	浜の風音楽コンク ール	1	参加者が好きな曲を器楽や声楽、ソロまたはア ンサンブルで演奏できるコンクールを開催す る。また、YouTube等での配信など、様々な 演奏発表の機会を通じて「演奏する喜び」を育 む
多様	講座・世界の音楽	1	バッハ、ベートーヴェン、ブラームスなど、生 演奏を交えつつ行う、レクチャー形式のコンサ ートを開催し、クラシック音楽を身近に感じる 機会とする。
多様	オペラ歌手と日本の 名曲を歌う会	1	市民がプロオペラ歌手による指導を受けること で、より歌唱を楽しむことができるように開催 するスキルアッププログラムとする。
<b>II 演劇事業</b>			
多様	ダンスワークショッ プ	1	学習指導要領変更に伴い「ダンス」が必修化さ れた。当館では、対象となる生徒や指導者など がダンスを身近に感じ、表現の楽しさや喜びを より一層味わえる機会を創出する。
多様	演劇公演	1	俳優・小宮孝泰氏のプロデュースによる本格的 な舞台演劇を鑑賞する機会を提供する。
<b>III 伝統文化事業</b>			
多様	寄席	1	今や身近になった落語を開催することで、落語 を通じて古典芸能に触れる機会とする。

IV 美術事業			
テーマ	事業名（仮称）	回数	目標・内容
共に	街角アート展	1	公募によりアート作品を募集し、地域全体で連携を図ることで、区内商店街、各団体施設等との交流を得る機会とする。
共に	絵手紙教室の開催	1	区民が気軽に創作活動を行える場として、教室が開催できる団体・個人等と協力し、港北らしさをテーマとする四季や自然を感じさせる風景などを作品とすることで郷土愛を育む機会とする。

### 【アウトリーチ事業】

テーマ	事業名（仮称）	回数	目標・内容
共に	アウトリーチ活動（施設などの地域）	1	子育て支援団体や福祉団体などの活動内容を理解し、活動に寄り添う形で、アーティストを館外に派遣し、文化芸術に触れる機会を創出する。
共に	アウトリーチ活動（学校）	4～5校程度	横浜市芸術文化教育プラットフォームに参加し、区内小中学校の生徒たちが文化芸術に触れる機会を創出する。

## 【育成事業】

テーマ	事業名（仮称）	回数	目標・内容
多様	SDGs 映画上映会	12	ドキュメンタリー映画を通じて世界のいまを知り、SDGs の課題解決に動き出すきっかけを提供する。
共に	運営ボランティア「ミズキー・サポーター」運営	随時	当施設で開催する自主事業にて、受付、列整等のサポートを担ってもらい、事前準備から当日進行までのスタッフ業務を実践することにより文化芸術運営に関する知識を蓄え、アートマネジメントへの興味を喚起する。この経験から事業制作に興味を持ち、文化芸術制作委員に参入し活躍していくことも期待できる。
共に	文化芸術制作委員	1	自主事業の運営、広報、進行などの業務を施設スタッフとともに行うことで、企画から実施までの知識を深め、文化芸術の担い手を養成する機会とする。
多様	チアリーディングコンテスト	1	市区内のチアリーディングチームと連携し、ホール舞台にてチア大会を開催する地域団体の連結強化や活性化を目的とする。
多様	シニアeスポーツ体験	1	シニア向けの脳トレーニングとして左記を開催する。
共に	アートマネジメント・ホールアーティスト研修生	随時	若手アーティスト支援の一環として、若手アーティストを研修生として受け入れ、施設の日常業務を通じ文化活動を支える業務を経験してもらおう。文化芸術活動実施にあたり、さまざま業務の必要性を理解し、その業務が文化芸術活動を支援していることの認識を持つきっかけとする。



### 【地域事業】

テーマ	事業名（仮称）	回数	目標・内容
共に	区内イベントとの連携	1~4	区内で開催されるイベントとの連携を図り、地域活性化を図ると共に、ミズキーホールの知名度を向上させるための手段とする。
多様	SDGs 関連事業	1~3	マルシェの開催、生協との連携などによるSDGs 関連事業を実施し、「SDGs」を理解するためのきっかけとする。
共に	港北区との連携	1	港北区主催の事業と連携し、アウトリーチ活動を実施し、地域活性化を図る。
共に	NPO 法人との連携	2	環境保全や童謡などをテーマに活動する NPO 法人との連携し、区民とともに地域振興を推進する。
共に	港北区紙芝居創作	1	区内で活動する 2 団体と連携し、それに基づく創作紙芝居鑑賞、ワークショップを行い、失われつつある紙芝居文化の承継を行う
共に	俳句・川柳講習会	1	区内活動をしている団体を講師としてお招きし、俳句川柳を通じて、身近にある事象や感情について、和歌に気軽に体験できる機会を創出する
共に	写真教室	1	風景・人物などの写真の構図を含めたテクニックを学ぶ機会を創出する

### 【普及事業】

テーマ	事業名（仮称）	回数	目標・内容
多様	避難訓練コンサート	1	自治体や施設で作成した災害対策のマニュアルやガイドラインの実地検証という側面と、災害発生時の行動を改めて見直す機会とする。
多様	CFX を弾こう♪	1 2	ホールの利用がない日を利用して、ヤマハの最高機種ピアノを市民に開かれたピアノとして、安価にグランドピアノを弾いてもらう機会を創出する。
多様	バックステージツアー	1	ステージの機構など見学するツアーを開催。作業手順や安全管理についての話を聞く機会を創り、文化芸術の担い手を養成するきっかけとする。
多様	緞帳ツアー	1	舞台の顔たる緞帳の意義、意匠の説明を行うことで、舞台上で催事を行う意味を市民に分かりやすく伝えることで、文化芸術に対する理解を深めることを目的とする。

### 【広報事業】

事業名（仮称）	回数	目標・内容
ホームページ・SNS（LINE・Facebook）運営	随時	自主事業、貸館での利用を問わず、希望のある利用者に対して、公共施設から情報発信をすることで、利用者の広報活動を後押しすると同時に、ミズキーホールの利用者獲得につなげる。
広報渉外活動	1 2	月間スケジュール、チラシの制作・配布、紙媒体やSNSなどへの掲載を通じてミズキーホールの知名度を高め、催し物情報を広く周知する。

### 【活動支援事業】

事業名（仮称）	回数	目標・内容
利用者会議	2	施設の利用者から生の意見を聞くことで、運営に係る事項の再検討を行いつつ、施設をよりよく利用してもらうための検討材料を得る機会とする。
コミュニケーションボード設置	通年	地域で活動する団体のメンバー募集やイベントの告知などに活用し、需要と供給の接続点をつくる。
文化力発信コーナー設置	随時	地域で活動する法人の作品・製品等を展示することで、個人が法人団体の活動を知る機会の第一歩とする
チケット委託販売業務	随時	利用者が当施設で開催する事業のチケット販売を代行（販売手数料は有料）する。他の目的で来館する方にも気軽に購入できる環境を整えることで、利用者の集客・収益の確保に貢献する。

令和6年度 維持管理計画書

項目	業務	内容	年回数	実施月	令和6年												令和7年		
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
電気・機械設備	パッケージエアコン点検・フィルター清掃	機能点検・フィルター清掃	4回	6・9・12・3月			○				○			○			○		
	エアハンドリングユニット点検	機能点検	2回	9・3月							○						○		
	エアハンドリングユニットフィルター清掃	フィルター清掃	4回	6・9・12・3月			○				○			○			○		
	空冷ヒートポンプチラー点検	機能点検	4回	6・9・12・3月			○				○			○			○		
	ファンコイルユニット点検	機能点検	2回	9・3月							○						○		
	ファンコイルユニットフィルター清掃	フィルター清掃	4回	6・9・12・3月			○				○			○			○		
	全熱交換器点検	機能点検	2回	9・3月							○						○		
	全熱交換器フィルター清掃	フィルター清掃	4回	6・9・12・3月			○				○			○			○		
	送風機・排風機点検	機能点検	2回	9・3月							○						○		
	加湿器・除湿器点検	機能点検	2回	9・3月							○						○		
	加湿器・除湿器フィルター清掃	フィルター清掃	4回	6・9・12・3月			○				○			○			○		
	密閉式膨張タンク点検	機能点検	1回	12月										○					
	フィルターユニット(有圧扇)フィルター清掃	フィルター清掃	4回	6・9・12・3月			○				○			○			○		
	空調機自動制御機器保守点検	機能点検	1回	10月									○						
	電話設備点検	機能点検	1回	12月										○					
	ITV設備点検	機能点検	1回	8月					○										
	舞台吊物点検	機能点検	2回	5・11月		○								○					
	舞台照明点検	機能点検	1回	12月										○					
	舞台音響設備点検	機能点検	1回	12月										○					
	グランドピアノ点検(フルコン)	機能点検	1回	11月										○					
グランドピアノ調律(フルコン)	調律	3回	5・8・2月		○			○								○			
グランドピアノ点検(セミコン)	機能点検	1回	11月										○						
グランドピアノ調律(セミコン)	調律	2回	5月		○														
アップライトピアノ点検	機能点検	1回	11月										○						
アップライトピアノ調律	調律	1回	5月		○														
衛生管理	害虫生息調査	生息調査	10回	5・11月以外	○		○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		
	害虫防除作業	防除作業	2回	5・11月		○							○						
	空気環境測定	空気環境測定	6回	偶数月	○		○		○		○		○			○			
	ホルムアルデヒド測定	ホルムアルデヒド測定	1回	9月							○								
建物等	エレベーター点検	機能点検	12回	毎月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	エスカレーター点検	機能点検	12回	毎月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	自動ドア点検	機能点検	2回	6・12月			○						○						
	加圧給水ポンプ点検	機能点検	1回	10月								○							
	機械警備業務	機械警備	12回	毎月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
清掃等	日常清掃	日常清掃	毎日	毎日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	定期清掃	床面洗浄、ワックス塗布、カーペットクリーニング等	4回	4・7・10・1月	○			○					○			○			
	ガラス清掃	ガラス清掃	4回	5・8・11・2月		○			○				○			○			
備品その他	防火対象物定期点検	法定点検	1回	9月									○						
	廃棄物処理業務	一般廃棄物処理	毎日	毎日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		

※必要に応じて適宜行を追加し、記載してください。

令和6年度横浜市港北区民文化センター自己評価表

目標設定の視点	計画内容及び運営目標	計画内容及び運営目標に対する実績	今後の取組(改善計画)	自己評価
利用者サービス	サービス介助士資格取得			
	耳マーク掲示			
	ハートプラスマーク掲示			
	館内表示の多言語化			
	翻訳アプリ・タブレットの整備			
	利用者専用パソコンの設置			
	ホームページ上で資料配布			
	広報誌の作成・配布			
	情報コーナーの整備			
	預かりチケットの販売			
	Wi-Fi 設置			
SNS・ホームページの活用				
業務運営	人員配置(館長兼地域コーディネーター1名、事業責任者1名、広報責任者1名、施設運営スタッフ5名(受付事務責任者1名含む)、舞台技術スタッフ4名(舞台責任者1名含む)、カルチャースタッフ6名)			
	施設管理維持業務の年間計画表に基づいた実施			
	緊急連絡網の維持管理			
	緊急時対策マニュアルの維持管理			
	消防計画の維持管理			
	朝礼・昼礼の実施(毎日)			
	スタッフミーティングの実施(月1回)			
県内主要メディア・地元メディアへの働きかけ				

	区内施設や団体との連携			
	地域のイベントのサポート			
	本社によるインスペクション（本社）			
	スーパーバイザーモニタリング			
	防災アドバイザーによる点検			
	防災計画策定維持管理			
	館内巡回			
	助成金活用			
	帰宅困難者対応			
	ワンコインコンサートの実施（年6回）			
	アウトリーチ事業の実施			
職員育成	サービスマナー研修の実施（年1回）			
	C S R 全員研修の実施（年1回）			
	ノーマライゼーション研修の実施（年1回）			
	情報公開と個人情報保護研修の実施（年1回）			
	危機管理・事故防止研修の実施（年1回）			
	救命講習・AED講習の実施（年1回）			
	消防訓練・防災訓練の実施（年2回）			
	防火管理講習の実施（適宜）			
	管理事例の紹介の実施（適宜）			
	通信教育の実施（年1回・希望者）			
	採用時研修の実施（「基本業務研修」「サービスマナー講習」「人権研修」「コンプライアンス研修」「指定管理者研修」「予約システム研修」）（採用時）			
	備品消耗品購入に係る相鉄グループの包括的割引契約の締結			
	市内中小企業優先発注			
その他 （上記4つの視点以外の項目がある）	環境負荷低減を配慮した物品調達 ハマロード・サポーターへの参加			

ば追記)			
利用者等の意見	ご意見箱の設置 (随時) 利用者アンケートの実施 (年1回) ホームページ問合せフォーム (随時) 利用者会議の実施 (年2回)		

《自己評価》

- A：計画、目標を上回って実施
- B：計画、目標を保持して実施
- C：計画、目標を下回って実施

※「利用者等の意見」は、計画内容及び運営目標欄に利用者等から寄せられた意見・要望を、計画内容及び運営目標に対する実績・今後の取組（改善計画）欄に意見等に対する対応を記載